
Role of 1st and 2nd speaker + α (1st lecture, Asian Bridge 2013)

Fumihiko Sano
(University of Tokyo, Law, 3)

Contents

- 0. What this lecture is about
 - 1. Role of 1st speaker
 - 2. Role of 2nd speaker
 - 3. Reply Speech
 - 4. 3 motions
 - Q&A
-

0. What this lecture is about

- Debate: 結果的には説得性のみがgoal
- Role: “1stと2ndはtechnicallyにはNAと一緒に”
と言われる。

1st Aff.
Definition, Argument

1st Neg.
Refute, Argument

2nd Aff.
Refute
Extending the case
Argument

2nd Neg.
Refute
Extending the case
Argument

-
- →でも！
 - 実際はアジアの上手いディベーターは、
多かれ少なかれそれ以上のことをやっている
 - 加えてそれによってcaseが強まっている
-

-
- このレクチャーのゴール
=「**technically**に求められる以上に
1st,2ndとしてできることは何か」
 - 但し所詮僕の私見なので信じすぎないで下さい
(他の人のレクチャーと相対化して下さい)
 - (ちょっと信じてくれたら嬉しいです)
-

1. Role of 1st speaker

- Contents
 - A. Role of 1st Aff.
 - B. Role of 1st Neg.
-

1st Speaker

- “If you don’t get first step right, you’re **DEAD**. It doesn’t matter how the rest is.”
 - “Frame you and your case.”
-

A. Role of 1st Aff.

- 1st Aff.には以下の3つが求められることが多い。
 - **a. Contextualization**
 - **b. Model**
 - **c. Stance and Argument**
-

A. Role of 1st Aff.

- 1st Aff.には以下の3つが求められることが多い。
 - { a. Contextualization
 - { b. Model
 - c. Stance and Argument
- } ≡ Set Up, Def.

A. Role of 1st Aff.

- 1st Aff.には以下の3つが求められることが多い。
 - a. Contextualization =When, Where
 - b. Model =Who, How, What
 - c. Stance and Argument=Why
-

なぜこれらの要素が必要か？

- Motionを肯定することがAff.の目的。

→ディベートで

「どういう状況でAff.が何をしようとしているか」
をclarifyしないと、肯定しようがない。

=Contextualization & Model

a. Contextualization

- モーションに関係ある事例を述べる等して、いつ/どこの話をしているのかをclearにする。
 - ex.) THBT post war compensation should be given to victims rather than the state.
 - ...after WW II , South Korea, China...
-

-
- Ex.) THW legalize child labor in developing countries.
 - →developing countriesってどこ？
 - South East AsiaとSomaliaでは大分違う
 - →Debateの前提(Set Up)として必要なことも。
-

じゃあContextってどうやって選ぶの？

- Motionが指定している時：素直に従いましょう。
- 特にMotionと場所が関係なさそうな時
： Liberal Democratic Countries
- Motionと関係ある時
- Ex.)・最近事件があった：earthquake...
 - ・issueと関係のある特徴的な国
ex.)移民/人種問題：US, EU...

Contextをより有効に使うために

- ①なぜPlanを今取らないといけないのかを説明
(→Give sense of urgency)

Ex.) THW invade North Korea.

- More ppl are becoming refugee, sanction rather hurts ppl on the ground...
- North Korea is developing missiles...

-
- ②印象操作でNeg.のバーデンを大きく見せる (Trend)
 - Trend = What you do is consistent with values and outcomes that society supports

Ex.) THW ban neutering pets.

- Many NGOs to protect animal, Animal Protection Law...
-

-
- ③ Tipping Point(轉換点)
 - We have the problem that looks really hard to solve. But here's the tipping point right now.
→Need of the policy

Ex.) Israel-Palestinian Conflict
(参照: Australs 2009 GF, Aff.)

Contextのまとめ

- ディベート全体を明確化するという意味で大事なだけでなく、Problem等をclarifyすることでAffirmativeのcaseを強めるためにも使うことができる。
→スピーチの始めに用いられる
- basic knowledgeでも十分強くできるけれども、researchをすると更に有効。

b. Model

- Model ≡ How your plan works
 - Contextは「いつどこで？」に主眼だったが、
 - ModelはAff.のpolicyで「誰が何をするのか？」というシステムを説明することに主眼。
-

- Model = Aff.がサポートするpolicyの中身

Context

Model

Argument

なぜAff.のpolicyがNeg.のpolicyよりもすぐれているか

- policyの中身としてそもそも誰が何をするのかを事前に明確化する必要

Modelの重要性

- ① Policyを明確化する
(→ Neg.(とジャッジ)のいちゃもんを避ける)
- Ex.) THW legalize organ transplants for profit.
- → Are they informed? How do we decide the price? How do we exchange organs?

▪ ②(容易に想像しうる)Neg.の議論にtackleする
alternativeを予めModellに加えておく

- Ex.) THW legalize all drugs.
 - effect on children! →age restriction
 - can't understand consequence!
→provide medical information
 - Crime!→ “Coffee shop”
-

注意点その1

- Conditionをつけることによって自分のArgumentが死ぬことがあります。

Ex.) THW legalize marijuana.

- Model: 観賞用だけ！！！！
- →あれ...freedom of choiceは...? BMは...?

Insane

Hard Model

Soft Model

Status Quo

差がある！
→Benefit！
(但しInsaneに
近づくことも)

差がない！
→Benefitない！
→意味不明

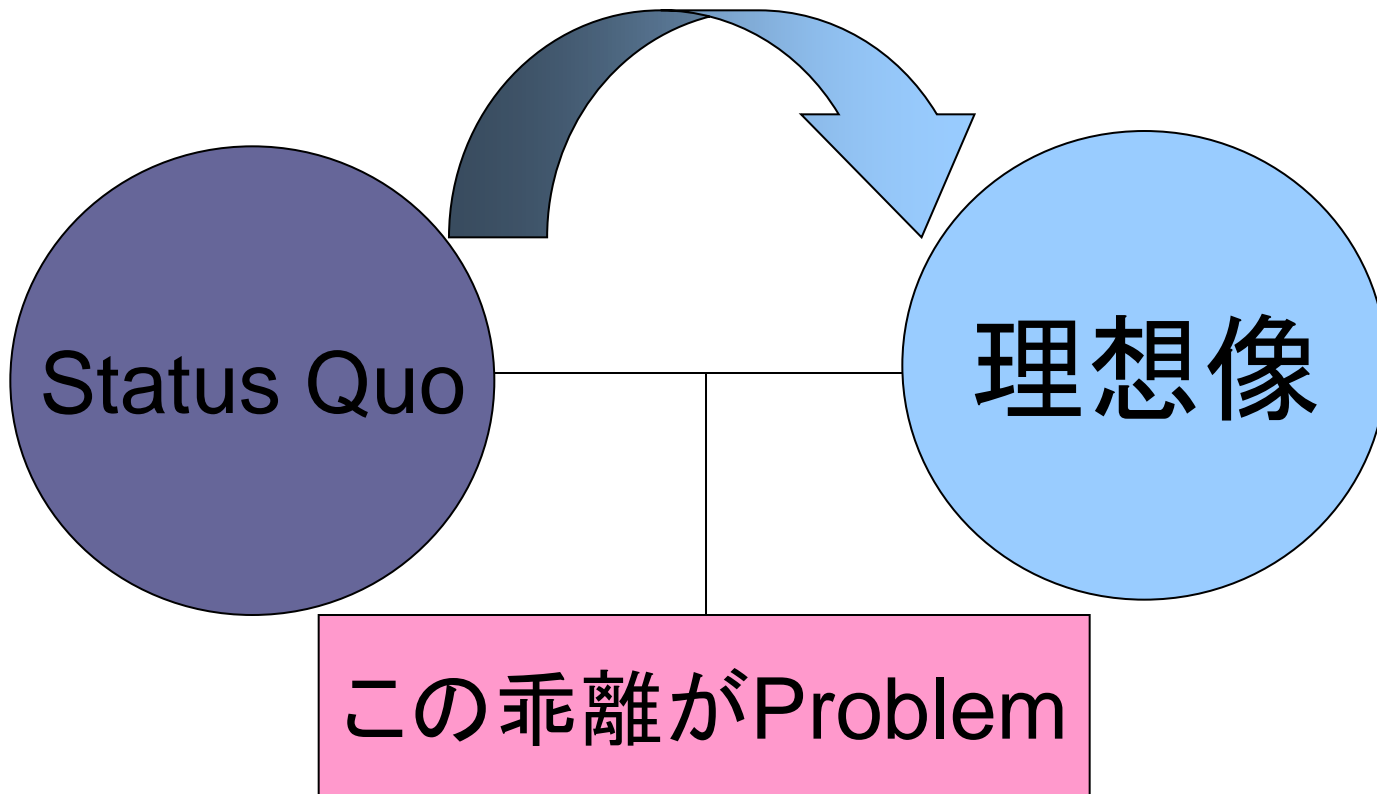
→Stanceに気をつけてModelは使いましょう
(Medium-Hard Modelがお勧めです)

注意点その2

- ディベートの本質はあくまでArgument!
- ModelはCaseを深めるのに重要で、強力な武器.
- でも”Why we need to take this policy”という部分が深まっていなければ意味がない。
- →気をとらわれすぎないように。

c. Stance and Argument

- Stance: the way you approach the problem



-
- なのでスタンスを述べるに当たっては
 - 何を目指しているのか
 - なぜ現状は乖離しているのか
 - なぜそれを解決できるか
-
- だけを簡潔に述べれば大抵は大丈夫。
-

Argument – Team Split

- 1st SpeakerのArgument
: Core and Obvious Argument
- = 一番motionから影響を受けるアクター
- ∴ 一番Argumentを話す時間がある

- → 2ndは周辺のアクターや、直ぐには思いつかないargumentを話す

B. Role of 1st Neg.

- 1st Neg.: 相手のケースへのエンゲージと、Neg.のケースの導入が求められる。
 - ここではNeg.のケースを導入するにあたって注意することを考察する。
 - (エンゲージは後述(2nd Speaker))
-

B. Role of 1st Neg.

- 以下の三つについて話す。
 - a. Basic Opp. Strategy
 - b. Stance
 - c. Model
-

Basic Opp. Strategy

- Opp. don't need to defend all things.
 - Opp. can choose what they support and what they oppose.
 - →どこをopposeするか選択する権利がOpp.にはある
 - →Opp.がopposeしたところがディベート
-

-
- Ex.) THW make democracy prerequisite for development aid.
 - Aff.
 - Democracy is good. Problem exists.
 - Aid is effective way to solve the problem.
 - It's justified to use aid.
-

-
- Ex.) THW make democracy prerequisite for development aid.

- **Neg.**

- Democracy is good.

→ Not necessarily

- Aid is effective way.

→ won't work

- It's justified to use aid.

→ Unjust

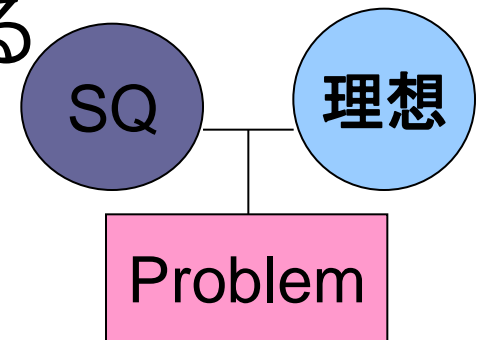
-
- Ex.) Aff. "SQで差別がヤバイ！"
 - "これをSQで解決するのがNeg.のBurden!"
 - Neg.: We accept the problem, but your policy will make it worse.
-
- → Opp. can choose what they oppose.
 - (Only condition: can't concede the motion
+ 同意しすぎないように)
-

Stance

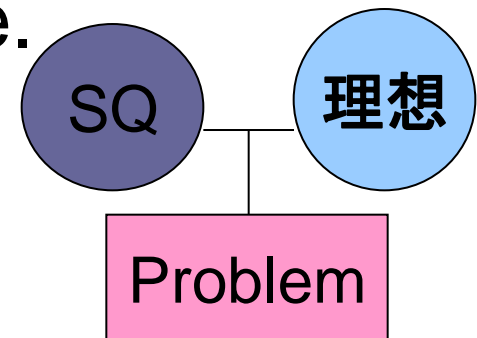
- Opp.は何にopposeするか選べる
 - →何をsupportして何にopposeしているのかは
ディベートの最初でclarifyする必要

 - →LOの段階でそのstanceを示す必要
-

- 特にAff.から提示された問題に対してNeg.はどのように対応していくのかを提示
- ①現象として起きていない
- ②現象として起きてるが問題ではない
- ③問題が起きているがAPで悪くなる
orより大きなharmが生まれる
- ...etc.



- Ex.① Problem: Failure of Rehabilitation
→ SQ works. They're already rehabilitated.
- Ex.② Problem: Prisoners are suffering.
→ They deserve that.
- Ex.③ Problem: Failure of Rehabilitation
→ Your policy will make it worse.



Model

- SQをsupportするにせよ、SQ+ alternativeを提示するにせよ、counter-modelを提示するにせよ
- Neg.にもNeg.のsupportするModelの説明が求められることが非常に多い
- (“How Neg. policy works”も含めて)
- →Stanceを明確化するように、サポートするpolicyも明確化することが求められる

2. Role of 2nd Speaker

- “Refute, and say something new”
 - 2nd Speakerはラウンドによって行う仕事/仕事の配分が大きく変わる
 - →Generalにできるアドバイスは殆どない。
-

Refute

- Refuteできる時間は限られているし、相手と同じだけの説明量はできない。
- でも大事な点にはDeputyから反論しておくことが重要
- →refuteする点を大事な点に絞ることが重要。
- 1. What hurts us most
- 2. What hurts them most

Refuteにあたってのアドバイス

- 1.よく聞いて、落ち着いて考える(ラウンド)
- →結局相手の主張の一番弱いところはどこなのか？
＝何が前提か？どこに立脚しているか？
- 2.事前にrefuteを考えておく(プレパ)
- →相手のcore and obvious argumentは何か？
どこを切ればよさそうか？

3rd Argument

- 強く出すことが求められる。
(Dynamicsとしてディベートを動かす必要)
 - Argumentの形で見つからなくても、それを頑張ってArgumentの形に見せる。
-

3rd Argumentの出し方

- 捻り出す。考える。頑張る。
 - Tips
 - 影響されるアクターを洗いだす
 - 長期的視点を入れてみる
 - 相手側の議論にカウンターする議論を考えてみる
-

3. Reply Speaker

- Summarize the debate.
- Biasedなサマリーをすることが求められる。
- =自分がジャッジになったつもりで、なぜフェアに自分たちが勝ったのかを示す
- →落ち着いた口調が求められる
- →過去形を用いた文章が良いとされる

4. 3 motions

- キツイmotionはどんなに頑張ってもキツイ。
- →最初のmotion選びは本当に重要。慎重に。
- Never choose randomly.
- 今までやったことがあるmotionが勝ちやすい訳じゃない。
- 一見キツくても相手よりキツくなければ大丈夫。

ではどうやって選ぶか？

- 自分たちのケースが立てやすいもの
- Ex.) Problemが大きくてクリアー、
- ハームは絶対に起こるしインパクトも大きい

- 自分たちはExceptionを守るか？守るとすれば守りやすいExceptionか？
- Ex.) Ban political contribution by religious organization



ANY QUESTION?

The End
